

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 STRATAFIX による連続埋没縫合を利用した術中の胸腔ドレーン挿入部の工夫
	●研究の対象 2022年6月から2025年5月までに浜松医科大学で手術を受けた方 498名のうち、術後のドレーンが7日以内に抜けて、初回外来を当院に受診した 407名。
	●研究の目的 呼吸器外科の手術は出血や空気漏れの管理のため胸の中にシリコン性の医療用チューブ(ドレーン)をいれてきます。抜く時の方法は施設によって様々です。当院では予め 4-O STRATAFIX®という体に吸収される糸を縫っておき、抜くときにはこれを引っ張ることで速やかにキズが閉鎖できる方法を用いています。しかし、たまに創の離開による追加縫合が必要になることがあります。また、ドレーンを入れていたキズは、開胸のキズよりも創感染の危険があります。ドレーンを抜く時のキズの離開と外来の時の感染の頻度を検討します。これをもって私たちのドレーン創部の閉創方法の有効性を検証することを目的としました。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2028年12月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部への提供はおこないません。
《利用し、又は	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

提供する試料・情報の項目 ≫	情報：性別、手術時の年齢、病名、手術情報、挿入したドレーンの種類、術後経過(キズの感染の有無) など
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学 第一外科 呼吸器外科 船井和仁
≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	本研究では実施しません
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	部署名： 第一外科 呼吸器外科 担当者： 関原圭吾 TEL： 053-435-2111 E-mail： sekihara@hama-med.ac.jp
--	--